

# 平成28年度 事業報告書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

公益財団法人理想教育財団

# 平成28年度実施事業の内容

## 事業区分一覧

事業	内容	
A-1	<b>学校情報伝達システムの調査・研究</b> 通信づくり講習会等、教師または大学の教職課程の学生を対象とした講習会の実施 学級力向上プロジェクトの推進	調査・研究事業
A-2	<b>教師による自作教材の調査・研究</b> 学習プリントをカラー化することによる教育効果・視覚的効果などの調査・研究	
A-3	<b>児童・生徒による創作表現活動の調査・研究</b> はがき新聞の教育効果に関する調査・研究	
B-1	<b>教育関連出版物の刊行</b> 通信づくりに役立つ冊子等の刊行	情報提供事業
B-2	<b>研究情報誌の発行</b> 「季刊理想」の発行	
B-3	<b>ホームページの運用</b>	
C-1	<b>後援・支援の事業</b> 臨書と自由書作品展の共催 その他プリントコミュニケーション活動の発展に関わる事業への助成	助成・顕彰事業
C-2	<b>新聞教育の普及・振興</b> 全国小・中学校・PTA新聞コンクールの後援 全国新聞教育研究大会の後援 地域の新聞教育に対する支援	
C-3	<b>日本人学校等への支援・助成</b> 海外日本人学校に対する児童図書寄贈 その他教育支援	
C-4	<b>コンクールの開催・顕彰</b> プリントコミュニケーションひろばの開催	

## 【A】調査・研究事業

### A-1 学校情報伝達システムの調査・研究

<b>①学校における各種通信の実態と教育効果に関する調査研究</b>	
*経緯 プリントコミュニケーションひろばを通して「通信」の役割と価値観の変化を感じ、「学校における通信活動の教育効果—これからの通信活動のあるべき姿は—」をテーマに研究をスタート。教員サイド、保護者サイドの両面からのアンケート調査を実施し、通信の持つ意味合いを探り、財団としての提案をする。研究責任者を富安敬二先生にお願いし発足した。	
「教員・管理職向けアンケート」	
実施時期	H28年2月アンケート配布・2月29日締め切り。
内容	教員、管理職向けの2種のアンケート。全国の6,095校に発送、961校5,295通を回収した。
計画	H29年1月を目処に中間報告を出し、来年秋を目処に全体報告書にまとめ発表する。
結果	H29年3月25日中間報告(速報版)発表。
「保護者向けアンケート」	
実施時期	保護者向け。6～7月発送開始～H29年3月回収完了。
内容	保護者向けアンケート。回収総数657件、有効回答数541件。
計画	H29年中に取りまとめ、年度末を目処に最終報告書にまとめ発表する。
ねらい	学校でのさまざまな問題が発生する昨今の現状を鑑みたと、子どもたちが安心・安全に過ごせる学級づくりが望まれる。私たちはプリコミ主催者としてその有効な手段としての通信の価値を見出し促進させることによりより良い学級づくりに貢献したい。
<b>②福岡県公立小中学校人権・同和教育研究大会(講師派遣)</b>	
日時	6月10日(金)
場所・参加者	福岡国際会議場 参加者400名(校長)
内容	講師として早稲田大学教職大学院教授 田中博之先生を派遣。テーマ:「これからの人権教育に求められるもの」。学級力向上に関する資料の配布をした。
<b>③広島市立五日市南中学校第1回授業研究会(講師派遣)</b>	
日時	6月14日(火)
場所・参加者	同校にて 参加者約30名
内容	講師として田中博之先生を派遣。授業指導と講演「学級力向上プロジェクトの進め方」。学級力向上に関する資料の支援をした。
<b>④群馬県桐生市清流中学校 校内研修会(講師派遣)</b>	
日時	9月7日(金) 午後
場所・参加者	清流中学校 参加者20名
内容	講師として田中博之先生を派遣。県教委指定「確かな学力推進校」としての運営指導。
<b>⑤京都市小学校教育研究会「青年教員研修会並びに幹事研修会」(講師派遣)</b>	
日時	10月7日(金)18:30～20:30
場所・参加者	京都市総合教育センター 永松記念ホール 参加者120名
内容	講師として早稲田大学 森山卓郎先生を派遣。 「アクティブに学びを深める」(しっかり考え、楽しく表現) をテーマに講演。全員にはがき新聞作成の実習を実施。
<b>⑥新潟薬科大学理科教職課程 教職実践演習「通信づくり授業」(講師派遣)</b>	
日時	10月28日(金)
場所・参加者	同大学 応用生命科学部B102教室 参加18名(学生)
内容	講師として新聞教育支援センター代表吉成勝好先生を派遣。理科通信づくりの授業を実施。

<b>⑦大阪総合保育大学 教職実践演習「学級通信づくり」(講師派遣)</b>	
日 時	10月31日(月)
場所・参加者	同大学教室 参加140名(学生)
内 容	講師として堺市立新浅香山小学校徳永加代校長先生を派遣。 幼保小の教員を目指す学生が対象。教壇に初めて立つ時発行する通信を題材に実習。

<b>⑧東洋大学教育実践演習 第1回「はがき新聞づくり」(講師派遣)</b>	
日 時	11月14日(月)
場所・参加者	同大学教室 参加40名(学生)
内 容	講師として吉成勝好先生を派遣。 「俳句をはがき新聞に表す事」をテーマにし、「はがき新聞づくり」を通じて、表現力・読解力を高めるための指導法を学ぶ講座。

<b>⑨東洋大学教育実践演習 第2回「学級通信づくり」(講師派遣)</b>	
日 時	11月21日(月)
場所・参加者	同大学教室 参加40名(学生)
内 容	講師として吉成勝好先生を派遣。 初めての学級通信をつくる(自己紹介通信)実習。

<b>⑩名古屋市立小幡小学校校内研修 (教材支援)</b>	
日 時	1月16日(月)
場所・参加者	同校教室 参加30名(教員)
内 容	愛知教育大学准教授 磯部征尊先生の講演に教材提供。 学級力向上プロジェクトの講演。

<b>⑪仙台市教育センター「フレッシュ先生3年次研修」(講師派遣)</b>	
日 時	1月26日(木)14:50~16:20
場所・参加者	仙台市教育センター 参加者150名
内 容	講師として吉成勝好先生を派遣。 テーマ;「通信づくりで学級経営の活性化を」

<b>⑫一宮市教育委員会 自主研修講座「よりよい授業より良い学級経営を目指して」(教材支援)</b>	
日 時	2月18日(木)9:00~11:00
場所・参加者	一宮市教育センター 参加14名
内 容	愛知教育大学准教授 磯部征尊先生の講演に教材提供。 学級力向上プロジェクトの講演。

## A-2教師による自作教材の調査・研究

2色プリントの効果的利用に関する調査・研究のまとめとして制作した「2色プリントの活用事例」を配布した。

## A-3児童・生徒による創作表現活動の調査・研究

### 「はがき新聞の教育効果に関する調査・研究」

#### 調査・研究対象について

\*学習指導要領の「言語活動の充実」を図るため、思考力・判断力・表現力・コミュニケーション力を高める教育手法として「はがき新聞づくり」を推奨。「はがき新聞づくり」は単なる行事、体験の報告に留まらず、多くの教科での活用が可能である。今年度の調査研究「コンパクトテキストによる文書表現力育成研究」のテーマとしては物語文以外に短歌俳句や特別な教科道徳を含むこととした。

#### 1. 主な活動状況

##### ①はがき新聞研究会活動

1) H27年度実施した実践事例集(抜粋版)作成し配布した。	
2) 朝日新聞のWebサイトteachers'メールにはがき新聞事例を掲載	
3) 新しい助成金を企画しアイテム数を増やし先生方の実践を支援した	
①はがき新聞俳句用を配布開始した	
②漫画で分かる学級力のススメ全5巻を発行	
4) H28年度実践事例報告を依頼	
締め切り	平成29年2月までに実践報告をいただく(募集 平成28年5月)
計画	・事例に対する講評のフィードバック及び一部を実践事例集として財団助成物として公開し、はがき新聞の普及の糧とする。
対象 (実践同意校)	小学校 28作品
	俳句・短歌×7、ごんぎつね×4、大造じいさんとガン×4、モチモチの木×3、道徳×3他
	中学校 6作品
	俳句・短歌×2、走れメロス×1、少年の日の思い出×1、道徳×1、故郷×1他

##### ②実践援助としての助成状況: 特別助成校(プリンタ付)、一般助成校(プリンタ無し) 3月末現在

	特別助成校	一般助成校	合計	
小学校	325	643	968	*全国の小中学校30,171校を母数とすれば 普及率は校1,489/30,171校 ⇒4.9%
中学校	163	358	521	
高校大学	36	40	76	
計	524	1041	1565	
2016.3月	477	715	1,058	
増減	47	326	507	
備考	はがき新聞の教育的効果の認知が広がり、知人の紹介・研修会で知った方などが増加。学校全体での利用校も散見される。追加した俳句用はがき新聞等相乗効果もあり、俳句授業での実践も聞かれるようになった。			

#### 2. はがき新聞の教育効果についての研究委託

##### ①研究テーマ「コンパクトテキストによる文章表現力育成の研究」

内容	はがき新聞を「コンパクトテキスト産出」型の取り組みとして位置づけ、学校教育の様々な局面においていかに応用できるかを考えるとともに、その効果を測定する。
実施期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
研究委託者	早稲田大学文学学術院 教授 森山卓郎先生
	1982年京都教育大学卒、1985年大阪大学大学院文学研究科博士課程修了、1988年同大学講師、1990年京都教育大学助教授、2004年同教授、2008年より附属幼稚園長を兼任、2012年より早稲田大学文学学術院教授、京都教育大学名誉教授。

##### ②研究テーマ「子どもがはがき新聞を通して、学級力向上プロセスを報告する授業方法の解明(学級力向上プロジェクト)」

内容	学級経営における教師・子ども・家庭・地域のコミュニケーション促進手段としてのはがき新聞の利用方法等の研究。
実施期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
研究委託者	早稲田大学教職大学院教授 田中博之先生

	大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程在学中に助手となり、大阪教育大学助教授・教授を経て、2009年4月より現職。文部科学省「全国的な学力調査に関する専門家会議」委員。専門は、授業デザイン・学習指導論。
--	--

### 3. 教育フォーラムの開催

①第5回教育フォーラム開催	
日 時	8月28日(日)13:00～17:45
場所・参加者	大阪第一ホテル 参加250名
内 容	<p>(1) 基調講演          ・講師: 十文字学園女子大学教授(前文部科学省教科調査官(国語)) 富山哲也氏          演題: 「言語活動をアクティブに展開するには」～はがき新聞の活用を考慮して～</p> <p>(2) シンポジウム「はがき新聞づくりの実践とアクティブな学び」          コーディネーター 早稲田大学文学学術院 教授 森山卓郎先生          シンポジスト: 大阪市立開平小学校 教諭 中島順子先生          京都教育大学附属桃山中学校 教諭 神崎友子先生          佐賀大学教育学部 教授 達富洋二先生</p> <p>(3) 特別講演          ・講師: 文部科学省初等中等教育局 視学官 田村学先生          演題: 「学習指導要領改訂の方向性」          -アクティブ・ラーニングの視点による不断の授業改善-</p>

②第6回教育フォーラム開催	
日 時	1月22日(日)13:00～17:45
場所・参加者	東京・銀座時事通信ホール 参加250名
内 容	<p>(1) 基調講演          ・講師: 國學院大學人間開発学部 教授 杉田 洋 氏          演題: 『アクティブ・ラーニングとしての特別活動と学級づくり』</p> <p>(2) シンポジウム『はがき新聞で高める学級力』          コーディネーター 早稲田大学教職大学院 教授 田中博之先生          シンポジスト 新宿区立落合第二小学校 教諭 梅澤 泉先生          大口町立大口中学校 教諭 兼松健太郎先生          広島市立己斐小学校 校長 竹川智子先生          郡山市立小原田中学校 校長 荻野由則先生</p> <p>(3) 特別講演          ・講師: 文部科学省初等中等教育局 教科調査官(特別活動) 安部恭子先生          演題: 『学習指導要領改訂の方向性－特別活動の新動向－』</p>

### 4. その他講習会・研修会等

①学級力向上研究会中部 (共催)	
日 時	5月15日(日) 13:00～17:30
場所・参加者	愛知教育大学 10名 座長 愛知教育大 准教授 磯部征尊先生
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級力向上プロジェクト推進における今年度の活動計画</li> <li>・学級力漫画のリリース計画</li> </ul>

②堺市立登美丘西小学校校内研修 はがき新聞講習会 (講師派遣)	
日 時	6月7日(火)
場所・参加者	堺市立登美丘西小学校 参加25名
内 容	講師として新浅香山小学校 徳永校長先生を派遣。テーマは『私が紹介する本』。

③名古屋市立高蔵小学校校内研修(講師派遣)	
日 時	6月17日(金)13:20～16:30
場所・参加者	高蔵小学校 参加25名
内 容	講師として早稲田大森山卓郎先生を派遣。6年生国語科の公開授業及びその後の授業指導。本校は再来年全国小学校国語研究会会場校。

④第2回はがき新聞づくりワークショップ(主催)	
日 時	7月9日(土) 14:00～16:00
場所・参加者	財団会議室 参加5名
内 容	講師として墨田区立小梅小学校堀口先生を招聘。はがき新聞ワークショップを実施。

⑤仙台市教育センター 土曜特別講座「新聞作りで深まる学級経営」(講師派遣)	
日 時	7月18日(土)
場所・参加者	仙台市教育センター・参加者14名
内 容	講師として清流中学校 宮前先生を派遣。通信を利用した学級づくりのノウハウを紹介。

⑥堺市国語部会「はがき新聞研修会」(運営支援)	
日 時	8月3日(水)
場所・参加者	堺市立熊野小学校 参加17名
内 容	講師は登美ヶ丘小学校森先生。はがき新聞を使った授業作り(俳句はがき新聞)を実習。

⑦第20回近畿学校図書館夏季セミナー奈良大会 (講師派遣)	
日 時	8月4日(木) 13:30～16:00
場所・参加者	奈良学園大学 参加約300名
内 容	講師として新浅香山小学校徳永校長先生を派遣。はがき新聞を活用した本のPR活動を紹介。

⑧堺市国語・図書館合同研究会「はがき新聞作りワークショップ」(講師派遣)	
日 時	8月17日(水)
場所・参加者	堺市教育センター 参加300名
内 容	講師として森山卓郎先生を派遣。テーマは「アクティブラーニングにおける国語教育―学校図書館を活用して」

⑨第3回はがき新聞ワークショップ(主催)	
日 時	9月18日(日)14:00～16:30
場所・参加者	大阪第一ホテル 参加者13名
内 容	講師として大阪市立開平小学校中島順子先生を招聘。 実践に即したはがき新聞での授業作りを実習。

⑩名古屋市立高蔵小学校校内研修 (講師派遣)	
日 時	9月23日(金)13:20～17:30
場所・参加者	高蔵小学校 25名
内 容	講師として森山卓郎先生を派遣。6年生国語科の公開授業及びその後の授業指導。

⑪学級力向上研究会(中部) (共催)	
日 時	9月24日(土) 14:00～17:30
場所・参加者	愛知教育大学 22名 座長 愛知教育大 准教授 磯部征尊先生
内 容	・財団活動予定と事業紹介 ・学級力実践報告6件、学級力向上研究会の県下における拡大計画等。

⑫第14回おきなわNIEセミナー はがき新聞づくり講習会 (講師派遣)	
日 時	9月24日(土)14:00～16:30
場所・参加者	沖縄タイムス2階ギャラリー 参加20名
内 容	講師としてプール学院大学今宮准教授を派遣。 沖縄県立総合教育センターからの要請により講師派遣。県NIE会長、沖縄タイムス、琉球新報担当者も参加。

⑬福岡県国語教育研究会（資料提供）	
日時	11月10日(木) 13:00～17:30
場所・参加者	北九州市立熊西中学校 参加200名
内容	福岡県中学校国語研究会にて財団助成物を受付配布。

⑭北九州市立小学校国語教育研究会（資料提供）	
日時	11月11日(金) 13:00～17:30
場所・参加者	小森江東小学校 参加者100名余
内容	福岡県中学校国語研究会会長江口校長からのご依頼を受け財団助成物を受付配布。

⑮学級力向上研究会(関西)（共催）	
日時	1月8日(日) 13:30～17:00
場所・参加者	新大阪マルビル 参加32名
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関西における学級力向上研究会の立ち上げ。座長はプール学院大学准教授の今宮信吾先生。参加者の多くは今宮先生の声がけによる。</li> <li>・設立目的は①学びの(授業の)創造②学級文化の創造③学校スタンダードの創出④学校他者との交流(ネットワークの創造)</li> </ul>

⑯学級力向上研究会(東京)(主催)	
日時	1月21日(土) 13:30～17:30
場所・参加者	財団会議室 参加29名
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明日の教育フォーラムについて説明。</li> <li>・学級力実践報告は6件の報告があった。</li> </ul>

⑰第4回はがき新聞ワークショップ開催（主催）	
日時	2月18日(金) 14:00～16:00
場所・参加者	財団大会議室 参加人員10名(都内6、栃木2、神奈川1、見学1名)
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師として小梅小学校 堀口先生を招聘。</li> <li>・俳句をテーマとした実習となる。実習時間は30分程であったが、全員が書き上げ発表まで終えることが出来た。</li> </ul>

⑱学級力向上研究会(関西)（共催）	
日時	3月26日(日)13:30～17:00
場所・参加者	新大阪丸ビル 参加者24名
内容	1月に続き開催。田中先生参加による本格的な研究会となった。

## 【B】情報提供事業

### B-1教育関連出版物の刊行

①『学級通信ネタ&デザイン集』刊行
通信づくりハンドブックのリニューアル。吉成勝好先生編著完成。
②『未来に伝えたい東日本大震災の記録』刊行
大震災の記録を残す為に、季刊理想掲載の取材記事を取りまとめ刊行した。

### B-2研究情報誌の発行

①機関誌『季刊理想』の発行
読者拡大のため言語活動以外の記事も充実させた。

### B-3ホームページの運用

①常に新鮮な情報がアップできるようシフト。
助成物品一覧表を掲載し画面で確認～申し込み出来るようにした。
②はがき新聞GRAPHICSの発行
財団発行のはがき新聞をQRコードによりWebとリンクさせ限定されていた図画情報を提供開始した。

## 【C】助成・顕彰事業

### C-1 後援・支援事業

①陸前高田市への印刷機寄贈	
日時	6月24日(金)
寄贈先	陸前高田市教育委員会(設置先 小友コミュニティーセンター)
内容	地域防災活動の核として地域の小学校とセンターが連携し防災教育を推進する。そのための教材印刷用に印刷機を希望され設置した。

②公益財団法人京都古文化保存協会「第54回小中学生記者の文化財取材コンクール」(後援)	
日時	7月31日(日) 14:00~16:30取材会、9月16日(金)作品審査 11月21日(月)表彰式
場所・参加者	取材先 六道珍皇寺 参加 小中学生 約80名
内容	対象は小中学生。六道珍皇寺見学後、小学生は東山区役所ではがき新聞を作成。中学生は原稿用紙3枚。はがき新聞部門 京都市長賞 葵小学校 昇 航玄さん他。

③第24回臨書と自由書展 児童の書を考える会主催(共催)	
日時	2月9日(木)~12日(日) 10:00~17:30
場所・参加者	東京芸術劇場5階展示ギャラリー 参加者107名 入場者数862名
内容	理想教育財団賞を17作品に授与。

④横浜市立学校総合文化祭(協賛)	
日時	8月~2月開催
場所・参加者	—
内容	ポスター制作等の支援

### C-2 新聞教育の普及・振興

①第59回全国新聞教育研究大会 茨城大会(後援)	
日時	8月1日(土)~2日 13:30~16:00
場所・参加者	茨城県民文化センター 初日約300名
内容	清流中学校宮前先生を講師派遣。及び速報新聞の印刷協力。神栖市立大田小学校の幡先生による「はがき新聞によるアクティブな情報発信」の提案の後、宮前先生による『はがき新聞ワークショップ』を開催。

②第50回まめ記者講習会(機材協力)	
日時	8月2日(火)~5日(金)
場所・参加者	晴海グランドホテル 110名
内容	主催:神奈川県私立小学校協会 新聞教育部会 印刷機材の貸し出し支援

③岩手県新聞教育研究協議会 研修会(講師派遣)	
日時	9月15日(木)
場所・参加者	盛岡市立本宮小学校 参加者約70名
内容	講師として田中博之先生派遣。公開授業「ごんぎつね」はがき新聞による発表と田中先生の講演「子どもたちが心を綴る学級づくり」。岩手日報にも報道された。

④広島県NIE学習会「博物館の取材とはがき新聞の作成実習」中国新聞社主催(資材提供)	
日時	10月8日(土)13:00~16:45
場所・参加者	広島県立歴史博物館 参加30名
内容	講師 広島大学 教授 朝倉淳先生他 中国新聞社NIEコーディネーター新田氏からの要請ではがき新聞資材関係の支援と財団紹介実施。新聞社の草の根ファン作りに貢献。

⑤岩手県小中学校新聞コンクール（後援）	
日 時	12月6日14:00～16:45(表彰式)
場所・参加者	岩手大学教育学部附属小学校にて 参加80名
内 容	岩手県新聞教育研究協議会会長 菅野秀一校長先生による表彰式
	財団:小学校はがき新聞の部×4賞、中学校はがき新聞の部×3賞を提供。

⑥京都市小中学校 NIE・新聞教育研究大会（資料提供他）	
日 時	1月27日(金) 13:30～17:00
場所・参加者	京都市立葵小学校(津知校長先生)・参加80名
内 容	・表記研究会の公開授業。葵小学校校長は研究会会長。3年前から積極的にはがき新聞を活用。現在では全学年で実践中。その効果についての評価を研究紀要のあとがきに記載していた。

⑦第51回北九州市小中特別支援学校・福岡県PTA新聞コンクール（後援）	
日 時	2月25日(土)13:30～16:30（表彰式）
場所・参加者	毎日西部会館
内 容	子供たちの作成した新聞の部、PTA新聞の部があり財団として3点の財団賞を出す。
	・PTA新聞は福岡県全域対象ではあるが8割は北九州。 ・学校新聞 17紙(小学校7、中学校10)計98点、 PTA新聞 78紙、162点

⑧第42回東京都小・中学校PTA新聞コンクール(協賛)	
日 時	2月27日(月)
場所・参加者	毎日ホールにて表彰式
内 容	応募総数合計194団体(8,439作品)。作品集印刷製本協力。

⑨第65回全国小・中学校・PTA新聞コンクール(後援)	
日 時	3月5日(日)
場所・参加者	毎日ホールにて表彰式
内 容	応募総数合計1,852団体(22,605作品)。財団賞2作品を授与。

### C-3日本人学校等への支援・助成

①海外日本人学校等への児童図書寄贈	
内 容	日本人学校10校へ日本の図書を寄贈。公益財団法人海外子女教育振興財団との連携による。
寄贈先	ムンバイ日本人学校(インド)、ジョホール日本人学校(インドネシア)、メルボルン日本人学校(オーストラリア)、アムステルダム日本人学校(オランダ)、ドバイ日本人学校(アラブ首長国連邦)、カトマンズ補習授業校(ネパール)、シカゴ補習授業校(アメリカ)、ポートランド補習授業校(アメリカ)、ローマ補習授業校(イタリア)、ベルリン補習授業校(ドイツ)

②ネパール教育支援	
内 容	ネパールへの教育支援を実施する。寄贈する図書・教材等は現地で調達し寄贈する。
対 象	1)ネパール日本子ども図書館
	2)カレリ・セカンダリー・スクール、ムラワリ・プライマリー・スクール
	3)バネパひかり幼稚園
主な活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひかり幼稚園・子ども図書館寄贈セレモニー(産業省のカンチャンチャンドラ副大臣来場)</li> <li>・日本大使館表敬訪問(小川特命全権大使・矢富一等書記官に挨拶)</li> <li>・カトマンズ日本人補習校(河村先生・田中代表・矢富理事に挨拶、寄贈品確認)※①の助成</li> <li>・ネパール日本子供図書館(サパナ館長)表敬訪問、寄贈品確認。</li> <li>・バネパひかり幼稚園表敬訪問、寄贈品確認。</li> <li>・園児達への日本式モデル授業実施。(森山卓郎先生)</li> </ul>

## C-4コンクールの開催・顕彰

①第12回「プリントコミュニケーションひろば」	
応募期間	平成28年1月2日～3月31日⇒平成28年5月最終審査 6月発表
応募状況	小学校285点、中学校368点、高等学校25点 その他6点 計684点（前年比+77点）
審査	4/16一次審査会(小学校)、4/23一次審査会(中高等学校)、5/14最終審査会
受賞校	最優秀賞 岐阜・岐南中学校「校長新聞「AGE」」（校長 安田英士先生）
	部門別優秀賞 広島・彩が丘小学校、天草市・久玉小学校、大仙市・大曲小学校
	他ひろば特別賞×1点、部門別優良賞×4点、ひろば賞10点
備考	第11回に比べ77点の応募増。教職6年未満の応募が多かった。最優秀賞の岐南中学校の安田校長先生の「AGE」に対して7/15審査員代表として富安敬二先生、村橋一成先生、斎藤専務理事が訪問し賞を授与した。

②第13回「プリントコミュニケーションひろば」	
応募期間	平成29年1月2日～3月31日
応募状況	小学校284点、中学校312点、高等学校20点 その他1点 計617点（前年比-67点）

## その他の事項

### 1.会議の開催

#### ①理事会・評議員会

- 第23回理事会 5月23日
- 第24回理事会 6月20日 書面決議
- 第25回理事会 6月23日 書面決議
- 第26回理事会 11月21日
- 第27回理事会 3月22日
- 第6回定時評議員会 6月20日

#### ②はがき新聞研究会

- はがき新聞研究会(関東部会)4月29日
- はがき新聞研究会(関西部会)5月1日
- はがき新聞研究会(関東部会)8月20日
- はがき新聞研究会(関西部会)8月27日
- はがき新聞研究会(関東部会)3月25日
- はがき新聞研究会(関西部会)3月27日

#### ③通信の教育効果等調査研究会議

- 第8回 5月11日
- 第9回 6月22日
- 第10回 9月30日
- 第11回 12月5日
- 第12回 1月25日
- 第13回 3月2日

#### ④事務所の引越し

- 6月6日(月)より新事務所にて業務開始

以上